

日本JC交流委員会がお送りする
出向者応援新聞

[Liaison (リエゾン) とは、ある地点や音をつなぐもの、またつなぐことによって新たに生まれるものを持つ意味する仏語。横浜JCと出向者をつなぐ新聞という意味で名付けました。]

〔リエゾン〕
liaison

OMOIYARI の心を 日本で育み、世界へと発信する

出向者応援企画
Vol.3

公益社団法人日本青年会議所 国際グループ
OMOIYARIネットワーク委員会

社団法人横浜青年会議所から出向しているメンバーや委員会を紹介し、応援する企画。今回は公益社団法人日本青年会議所国際グループ「OMOIYARIネットワーク委員会」をご紹介します。

人間が本来持っている、人を気遣う心。日本人は古くからそうした優しさを「思いやり」という言葉で表現してきた。昨年発生した東日本大震災では未曾有の大災害に直面しても決して秩序を失わず、互いに助け合う姿がメディアを通して発信され、その優れた人間性が世界中から称賛された。

しかし、こうした他者を思いやる心は本来、世界中の人が持っているはずのもの。そこで日本の精神文化「OMOIYARI」を世界に発信することで人間本来の心を取り戻し、ひいては世界平和の実現を目指すのが、(公社)日本青年会議所国際グループ「OMOIYARIネットワーク委員会」だ。

具体的な運動発信としてはOMOIYARIセミナーを国内各地で開催するほか、次代を担う子供たちを交え、音楽を通じてOMOIYARIの心を育成する事業を各地域、諸団体で展開する。活動は国内にとどまらず、海外においてもJCIの諸会議、大会などでプログラムを実施し、世界平和への意識醸成を目指す。

藤田喜生委員長(右)は総会でJCI事務総長・エジソン・A.コダマ氏(左)に導かれて壇上に立ち、OMOIYARIの心を伝えると同時に、日本への震災復興支援活動に対する感謝の言葉を述べた。



サマー・コンファレンスでのセミナーは恒例だが、JCI世界会議台北大会でも日本の文化に魅力を感じて活動している外国人青年を発掘し、その活動を称える事業を展開する予定。今後の運動発信が楽しみだ。

原田JCI直前会頭(上段左から二番目)はじめ、アメリカエリニア会議GALAに参加したメンバーでの記念写真。左はブラジルナイトでJCIトレーニングディレクター(最高管理者)のギュンター氏(左から三番目)を囲んだワンショット。横浜からは稻葉崇浩議長と小林慶子君が参加。

会場はラテンアメリカらしい明るい雰囲気に包まれ、セミナー終了後は参加者から喝采の嵐を浴びたという。また被災地の子ども達が描いた絵を飾り、日本の復興への理解、支援を感謝するバナーを掲げたパネル展示も行われた。

今後はこれまで培ってきた内容を基にJCI公式プログラムへと移行し、OMOIYARIプログラムトレーナーを育成・支援、持続可能な運動を目指していく。JCIの特性を活かした壮大な計画だ。

サマー・コンファレンスでのセミナーは恒例だが、JCI世界会議台北大会でも日本の文化に魅力を感じて活動している外国人青年を発掘し、その活動を称える事業を展開する予定。今後の運動発信が楽しみだ。

左から二番目(上段左から二番目)はじめ、アメリカエリニア会議GALAに参加したメンバーでの記念写真。

左はブラジルナイトでJCIトレーニングディレクター(最高管理者)のギュンター氏(左から三番目)を囲んだワンショット。横浜からは稻葉崇浩議長と小林慶子君が参加。



日本を
離れて分かる
戀愛のこころ



日本を
離れて分かる
戀愛のこころ
笑顔から
溢れる言葉は
OMOIYARI
Joyce川柳

川村徹也



左はブラジルナイトでJCIトレーニングディレクター(最高管理者)のギュンター氏(左から三番目)を囲んだワンショット。横浜からは稻葉崇浩議長と小林慶子君が参加。

今こそスキルアップのチャンス！

(公社)日本青年会議所人的資源グループ LOMサービス実践委員会では、今年も魅力溢れるプログラムを数多く開催中！

「JCIプレゼンター」は、プレゼンテーションスキル向上のための1日コース。相手に伝わるプレゼンに



必要な事は何かを学び、実際にプレゼンを行なうことによって習得して

いく実践型な内容だ。

「JCIトレーナー」は、大人を対象としたセミナーを行うために必要なトレーニング技術や方法を学ぶ、2日間の充実したコース。

複雑な情報を分かりやすく、かつ前向きな方向で提示する事ができるようになる。受講生はJCIプレゼンターコースを修了した人が対象。

LOMサービス実践委員会では、「自らが学び、高みを目指して研鑽しながら人材の育成に努め、大きな志をもって地域の未来を切り拓き導くことができるJAYCEE」の養成を目的として、これら各種のプログラムを実施している。各地区に一人、JCI公式プログラムのトレーナー

を輩出するのが目標だ。

なお、(社)横浜青年会議所でも「スタンダードセミナー」を開催する。詳しくは左記参照のこと。

青年会議所活動への理解を深める必須のセミナー、ぜひ受講を！

今年のサマコンもエンジン全開

横浜での開催16回目を迎える、今年度のサマーコンファレンス。(公

社)日本青年会議所国家グループサマー・コンファレンス運営委員会の委員会・全体会議が4月21～22日、横浜の地で開催されました。

今年度初の横浜開催ということでも、なんと100名を超えるメンバーが参加。タイクーンで行われた懇親会も大いに盛り上がり、それぞれ

横浜の夜を楽しんでいただけたようです。

開催までいよいよ残り2か月。5月の日本JC理事会では本体議案をはじめとするサマコン関連議案が可決承認され、あとは本番に向けて突っ走るのみ！となりました。

今年も横浜LOMメンバー総力を上げて、サマコンをフルサポートしていきましょう！



今年度サマコン初の横浜での委員会開催。日本JC交流委員会で渉外活動をさせていただきました！



色とりどりに並んだウェルカムカード＆折りバラ。全部メッセージが違います！



100名以上の日本JCサマーコンファレンス運営委員会メンバーを前に、ご挨拶する大野副理事長。

北九州全国大会・げんちょー便り

今年10月11日(木)～14日(日)にかけて開催される「第61回全国会員大会 北九州大会」。全国大会のクライマックスと言えば、やはり13日(土)に開催される「大会式典～卒業式」。今回は、その会場となる北九州メディアドームをご紹介します！

北九州メディアドームはJR小倉駅からモノレール＆徒歩で20分という好立地にある全天候型多目的ドーム施設。1998年に竣工され、最大収容人数20,000人(!)という九州最大級のイベント施設なのです。最大の特徴は…コンサートなどのイベント以外に、競輪場としても運用されていること！だから、施設を俯瞰すると橢円型のちょっと不思議な形になっているのですね。

メインフォーラムが開催される北九州ソレイユホール、地域活性化たからいの会場となる勝山公園などへのアクセスも良好。これまでにないユニークな全国大会になること、間違いナシなのです！

北九州メディアドームを入念に現地視察する、我らが北野委員長。ドームを上から見ると競輪選手のヘルメットを模した形になっているのです！



全国大会が開催される北九州市小倉地区は、小倉牛をはじめとするグルメが充実！ 実は焼きうどん発祥の地だったりします。

